

富山市地域公共交通網形成計画に係る令和3年度実施事業について

公共交通の活性化に向けた基本方針における交通施策について

本計画の各基本方針における、令和3年度の主な交通施策の取り組みは、次の通りである。

1. 基本方針① 公共交通軸の活性化によるコンパクトなまちづくりの実現

(1) 鉄軌道活性化計画

1) JR高山本線の増便

事業主体：西日本旅客鉄道(株)・富山市

内 容：利用者が多く、増便の効果が高い時間帯の増便（40本／日のうち5本／日）運行を継続して行う。

2) あいの風とやま鉄道線の新改札の設置等による機能強化

事業主体：あいの風とやま鉄道(株)・富山市

内 容：平成28年9月に市街化編入した呉羽駅北側地区での住居系を主とする開発により、今後、駅周辺居住者の増加が見込まれることから、駅利用者の利便性向上を図るため、呉羽駅北口改札設置工事を行う。

3) あいの風とやま鉄道線の新駅整備

事業主体：あいの風とやま鉄道(株)・国・富山県・富山市

内 容：あいの風とやま鉄道線沿線の下富居外地内県有地の開発にあわせ、鉄道の利便性向上を図るため、富山～東富山間「新富山口駅」の設置工事（令和元年度着工、令和3年度末開業予定）を行う。



(2) 幹線バス活性化計画

1) WEB上での経路検索情報の提供

事業主体：富山地方鉄道㈱・富山県・富山市

内 容：富山地方鉄道㈱と市が、標準フォーマットに基づきオープンデータ化したバス情報を、県が取り纏めて乗継検索サイトに提供することで、複数の検索サイトで利用が可能となっており、引き続きこれらのデータ更新を行う。

2) パーク&バスライド、サイクル&バスライド

事業主体：富山市・富山地方鉄道㈱

内 容：バスの利用圏域の拡大を図るため、バス停周辺に整備したパーク&バスライド駐車場、サイクル&バスライド駐輪場の利用啓発を行う。

3) 交通によるおもてなし環境の創出（グリーンスローモビリティ運行事業）

事業主体：富山市

内 容：富山駅北地区の賑わいの創出や、公共交通空白地域における新たな移動手段としての導入可能性の検討のため、低速で安全な「グリーンスローモビリティ」（電動で、時速 20 km未満で公道を走行する 4 人乗り以上のモビリティ）を引き続き運行する。



2. 基本方針② 地域特性に応じた多様な生活交通の確保

(1) 生活交通サービス整備方針

1) 公営コミュニティバス等の効率的な運行

事業主体：富山市

内 容：民間の交通事業ではカバーできない地域において、市が運行主体となり、公営バスや乗合タクシーを運行することにより、公共交通空白地域の解消や市民の日常の足となる生活交通の確保に努める。

2) 地域自主運行バスの導入支援

事業主体：富山市

内 容：地域等が主体となって運行するバス事業に対して、運行費の補助、バス車両の無償貸与等の支援を行う。

3) 生活バス路線（民間赤字路線）の維持

事業主体：国・富山県・富山市

内 容：市民生活にとって重要な生活バス路線は、国・県・市が連携して引き続き支援を行い、路線の維持に努める。

3. 基本方針③ 公共交通利用促進

(1) モビリティ・マネジメントの計画的実施

1) 多様な場面・手法での情報発信（とやまレールライフ・プロジェクト）

事業主体：富山市

内 容：マスメディア、情報誌やインターネット環境を活用するとともに、各種イベント等の機会も捉え、市民に向けて広く公共交通の利用促進について情報を発信する。

2) 多様な主体に応じた情報提供（駅・バス停別の利用促進啓発活動）

事業主体：交通事業者・富山市

内 容：特定の駅やバス停に特化した時刻表・マップ等の利用啓発ツールを使用し、戸別訪問やアンケートによる利用啓発活動を、交通事業者と市が連携して実施する。

3) 将来世代に対する公共交通への意識啓発（のりもの語り教育）

事業主体：富山市

内 容：小学校3～6年生の社会科や総合的な学習の時間における、交通環境学習「のりもの語り教育」の実施を推進する。

4) 企業向けモビリティ・マネジメント事業（新規）

事業主体：富山市

内 容：マイカー通勤から公共交通を利用した通勤（エコ通勤）への転換を呼びかけることで、通勤時における高い自動車分担率の改善を図る。

（2）IC カードの多様な活用

1) 公共交通機関相互の接続性の向上（全国共通交通系 IC カードシステムの導入）

事業主体：富山地方鉄道(株)・西日本旅客鉄道(株)・富山市

内 容：来街者に対する利便性の向上や富山駅の交通結節機能強化、キャッシュレス化の推進を図るため、令和3年10月頃を目標に、路面電車へ全国共通交通系 IC カードによる決済システムを導入する。

2) 市民向けゴールドパス導入事業（新規）

事業主体：富山地方鉄道(株)・富山大学・富山市

内 容：富山地方鉄道(株)において63歳以上を対象に販売しているフリーIC定期券（ゴールドパス、夫婦 de ゴールド、いきいきパス）について、富山市民を対象とした新たな低価格券を導入する社会実験を、市・富山大学・富山地方鉄道(株)が連携して行う。

この社会実験では、IC 定期券の利用情報データを取得し、利用頻度や乗降時間帯及び利用の多いルート等の利用状況を分析し、利用実態にあわせた運行ルートやダイヤの見直し、高齢者に配慮した施設のバリアフリー計画やノンステップバスの効率的な運用、さらに時間帯及び曜日などの利用条件を限定した低価格なサブスクリプション（定額制サービス）の導入の実現について三者で検討し、さらなる公共交通のサービス向上に努める。

（3）ICT を活用した公共交通機関のロケーション情報などの配信

事業主体：富山県地域公共交通情報提供推進協議会

内 容：渋滞（特に降雪期）などで定時性の確保が困難なバスを安心して待つことができるよう、県内全域の民営バスと公営バスを網羅したバスロケーションシステム「とやまロケーションシステム」の維持管理を行う。